令和８年10月30日

浜小だより

11月号

横浜市立浜小学校
校長　　丹波 悟亮

《学校教育目標》相手の考えや気持ちを大切にし、互いに高め合う浜の子

はまの風は、あたたかい

副校長 花本 敏夫

１０月８日、5年生とともに柴漁港に見学に行きました。そこで漁師さんの工夫や、漁をするだけでなく海の環境を整え、魚が生息しやすいようにしていることが分かりました。今のことだけではなく未来のことを考えた取組に対して、子どもたちもあらためて未来のことを考える大切さを認識したのではないでしょうか。

さて、このようなお話を聞くために、時間をかけて遠くまで出かけるわけですが、今回、直接お話を聞く中で、その人の語る熱量や経験値など、その人にしか伝えられないことがあるということを実感しました。教師が話を聞いて、子どもたちに伝えることもできますが、やはり当事者の語る力に勝るものはありません。

この経験を通して、学校だけでなく地域や社会で活躍する様々な方々に、子どもたちが直接ふれていくことが大切であると確信しました。

今年度より浜小学校は、学校・地域コーディネーターをお願いした方々に「浜小学校地域学校協働本部（はまの風）」の設立準備を進めていただいています。

学校・地域コーディネーターには学校と地域を結び、子どもたちを社会全体で支える教育を推進する橋渡しとなっていただくことになります。今もすでにご協力いただいていますが、学習の支援や見守り、校外学習の引率ボランティア、まちの先生など、様々な角度からご協力いただき、子どもたちの成長を支えていただきたいと思います。今後あらためて、その取組について発信していくことになりますのでよろしくお願いします。

先日、地域の民家にハチの巣が発生しました。これに対して速やかに地域の自治会長が中心となって対応し、ハチの巣が無事撤去されました。きっと見えないところで多くの方々が主体的に行動し連携した結果なのでしょう。

このような地域の連携、地域力を知るにつけ、いざ災害時にもきっとこの力を発揮し、乗り越えていくのだろうと感動しました。

これからも、地域・保護者の皆様とともに、子どもたちへ「はまのあたたかい風」を届けていきたいと思います。